

日独仏 AI 研究

2020 年度採択研究代表者

2020 年度 年次報告書

佐藤 健

国立情報学研究所 情報学プリンシプル研究系
教授

人工知能の実時間規範遵守機構の研究

§ 1. 研究成果の概要

本年度は、従来の関連研究についてのサーベイを行い、我々の研究に使えるような手法があるかどうかを検討した。

倫理規範の処理は、階層制約処理に対応しているため、以前我々が研究していた投機的制約処理が使えないかを検討したが、投機的制約処理においては制約が一階層であるため、多階層への拡張の必要性が分かった。そのため、多階層への拡張に関する予備的検討を行った。

§ 2. 研究実施体制

(1) 佐藤グループ

- ① 研究代表者: 佐藤 健 (国立情報学研究所 情報学プリンシプル研究系 教授)
- ② 研究項目
 - ・AI に適用される法規範の表現方法について検討するとともに、細部グループとともに法規範遵守検査機構の開発および投機的計算モデルの開発を行う。

(2) 細部グループ

- ① 主たる共同研究者: 細部 博史 (法政大学 情報科学部 教授)
- ② 研究項目
 - ・佐藤グループとともに、法規範遵守検査機構の開発を行うとともに、主に、ハード制約・ソフト制約処理を同時に行う投機的計算に基づいた実時間生成手法の開発に関して、ソフト制約に制約の強さの階層を構成している場合の投機的計算モデルを開発する。